

「質量分析技術者研究会」の紹介 2024 ～研究支援力向上に資する取り組み～

○倉田 理恵^{a)}、江上 三佳^{b)}、岡 征子^{c)}、塩川 つぐみ^{d)}、新地 姉理華^{e)}、杉村 夏彦^{f)}、
瀧 健太郎^{g)}、西川 嘉子^{a)}、西野 耕平^{h)}、山口 信雄ⁱ⁾、横野 瑞希^{j)}、三宅 里佳^{k)}
^{a)}奈良先端科学技術大学院大学、^{b)}大阪公立大学、^{c)}北海道大学、^{d)}岡山大学、^{e)}佐賀大学、
^{f)}早稲田大学、^{g)}名古屋大学、^{h)}徳島大学、ⁱ⁾広島大学、^{j)}徳島大学、^{k)}大阪大学

1. はじめに

質量分析技術者研究会は、大学及び大学共同機関等の技術職員で質量分析に関わっている技術者を中心に、質量分析技術の向上を目指して発足した会である。会員は国内外の初学者からベテランまで幅広く、その専門範囲も物理・化学系、材料系、生物系をフォローしている。毎年1回から数回の研究会を主催しており、現場の技術者が専門的知識の基礎を繰り返し学習しつつ、経験談を交えてより実践に即した応用技術を学び、更なるスキルアップを行っている。研究会を通じて実務者や装置等メーカー技術者からのアドバイス、技術開発のための情報を得ることができ、新人育成や相互交流を促進できる場となっている。横のつながりから誰でも相談ができ、特に初学者に馴染みやすくなるよう閾値の低い運営を心掛けている。

2. 沿革

2006年「質量分析技術者近畿ブロック研究会」が発足

2019年「質量分析技術者研究会」に名称を変更し、

日本質量分析学会の分科会となる

3. 概要

現在メンバーは119名（2024.7.26現在）。

大学、高専、大学共同利用機関法人、公設試験研究機関など様々な機関・分野で質量分析に関わるメンバーによって構成されている。質量分析学会の研究部会という位置づけではあるが、メンバーは必ずしも学会員である必要はない。



図 メンバー所属機関

4. 主な活動

年数回開催する質量分析技術者研究会、メーリングリストによる情報交換の他に大学連携研究設備ネットワークと連携した人材育成のための質量分析に関する講習会の企画・開催がある。

5. おわりに

技術者は、研究を進めたい、研究者の夢を叶えたいと日々思いながら業務をおこなっていると思われるが、多種多様な質量分析計の全てが手元にあるわけではなく、職場で他に聞ける人もおらず、そのような状況下で利用者のニーズに応え続けることは困難だと思われる。質量分析技術者研究会はどんな些細なことでも気軽に聞くことのできる集いである。是非お気軽にご参加ください。

謝辞

全ての会においてご参加いただきました皆様、活動にご理解・ご協力いただきました皆様にこの場を借りて感謝いたします。